

第1号議案 令和3年度事業報告

令和3年度事業報告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

【1】令和3年度一般経過報告

令和2年世界的に蔓延した新型コロナウイルス感染症は年を超えて令和3年度におきましても状況は変わらず活動が制約されました。新しい生活様式を取り入れ、コロナとの共生を図りながら諸施策の実行に努めてまいりましたが、事業の中止・延期も止む無く、また、各会での活動も十分に行われず、会員減少を招いてしまいました。

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止対策につきましては、公益法人としての社会的使命を図るべく、内閣府並びに大阪府の指導指針に則り、万全を期してまいりました。
- ② 事業の効率化、コロナ対策も含めリモート会議・リモート研修会も取り入れ事業展開を図りました。
- ③ 定例の内閣府の立入検査があり、今回は法令に基づく規程等、コンプライアンス・ガバナンス及び経理関係を重点的に調査されましたが、特に問題もなく終わりました。

【2】重点施策の結果

1. 会員増員対策の更なる展開（組織点検運動の緊急展開）

- ① コロナ禍での支部・教場の長期閉鎖により、会員の離脱・指導者不在等の情報を入手し、他支部への移動等、個々に対応し会員減少を抑えた。
- ② 退会防止対策、会員獲得の為に徹底した推進活動
会員1万人復活活動を実施（新入会及び再入会促進キャンペーン）
 - ・各会と協力し、退会者に再入会の呼びかけを実施、（再入会83人）の入会を得た。
 - ・新入会員獲得策として、自律自助の精神で「ひとり一声運動」の実施と

入会金免除の特典を付与した。

- ③ 各地区での吟詠普及推進事業、全国 3 地区で実施、356 人（内一般会員 120 人）の参加を得た。
- ④ 東明未来塾：指導者養成講座として、本部コース（第 7 期）・九州コース（第 4 期）・西中国コース（第 4 期）・東海コース（第 6 期）を開講し、総数 172 人が受講した。
- ⑤ 吟道大学：コロナ禍により、中止。

2. 経費削減の実施

新たな 10 ヶ年計画を基に、3 ヶ年見直し業務の効率化を図り、経費を削減した。

3. 局部制の一層の充実

「指導局」「管理局」「広報局」それぞれが、重点課題・目標に向かって効率よく実施された。

4. 定款施行細則・規程類の見直しと整理を行った。

5. 90 周年記念大会に向けて、記念誌の作成を進めた。

会員数は令和 4 年 3 月末現在 8,275 人となり、871 人（△9.5%）の減少となりました。

新入会者数 422 人（再入会者含む）に対し、退会者が 1,293 人でした。

令和3年度 事業報告

自：令和3年4月1日 至：令和4年3月31日

1. 公益目的事業

本会は、詩歌吟詠をより多くの人々に普及する為に、次の事業を行った。

公益目的1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

(1) 吟詠普及推進吟詠大会（一般来聴公募）

関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠のすばらしさを広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図った。また、地区事情に合わせて、新指導者の研修に取り組んだ。但し、令和3年度も令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症蔓延により、計画していた多くの事業が中止又は延期となった。

① 2021 全国吟詠大会 in 大阪

- ・令和3年10月17日（日） 大東市総合文化会館サーティホール
広く一般の方々に古典芸能としての吟詠を様々な形でお聞きいただくため、全国から推薦された師範代以上の指導者により吟詠普及に努めた。
560人参加（内一般会員他100人）

② 新春吟詠大会

- ・令和4年1月10日（祝） 都ホテル尼崎
新年を寿ぎ、全国から会員及び不特定多数の方々が集い、関西吟詩の優秀吟者の吟詠を鑑賞するとともに、参加者全員の吟詠を行い、懇親を深めた。
207人参加（内一般会員他20人）

③ 吟詠普及推進研修会兼吟詠大会（一般来聴公募）

研修会と共に関西吟詩の優秀吟者による吟詠披露を行い、不特定多数の方々に吟詠を鑑賞頂いた。但し、新型コロナウイルス感染症蔓延の為、今年度も予定していた一部の大会が中止となった。

- ・吟詠普及研修会兼推薦師範講習会 エーリック（尼崎）
令和3年6月13日（日） 120人参加（内一般会員他40人）
- ・九州大会 令和3年7月18日（日）・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
- ・岡山大会 令和3年8月22日（日） 76人参加（内一般会員他20人）
- ・京滋福井大会 令和4年2月13日（日）・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
- ・東海大会 令和4年2月20日（日）・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
- ・四国大会 令和4年2月27日（日） 70人参加（内一般会員他20人）
- ・西中国大会 令和4年3月19日（土） 210人参加（内一般会員他80人）

(2) 周年記念大会

- ① 総本部：創立90周年を令和5年に控え、記念誌作成委員会並びに記念大会準備委員会を立ち上げた。
- ② 各公認団体等の記念大会等への後援を行った。
 - ・正洲会創立65周年記念大会
 - ・婦人部結成85周年記念大会

- (3) 吟詠普及啓発活動を新型コロナウイルス感染防止対策を策定し行った。
- ① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣
 - ・小中学での課外授業への積極的参加
 - ・公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣
 - ・幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供
 - ② 福祉施設・地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進
 - ③ 学校、図書館などへの吟詠資料提供
 - ④ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的な参加
 - ⑤ 路上ライブなどへの積極的参加・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
- (4) 吟詠普及啓発活動助成事業
 岳豊会と鷺照吟詠会の吟詠普及推進活動に対し、規約に則り助成を行った。
- (5) 全国青年部吟詠大会（一般来聴公募）
 青年部主導で青年部員吟詠、幼少年吟詠、役員吟詠、他流優秀吟者吟詠、関西吟詩優秀吟者吟詠、青年部による構成吟の発表で、詩歌吟詠の普及と伝承を図った。
 また、ALS（筋萎縮性側索硬化症）患者によるリモート講演を行った。
 令和3年7月4日（日） 東大阪市文化創造館
 参加者 400人（内一般会員他80人）
- (6) 電磁的公報、機関誌発行
- ①吟詠普及の為にユーチューブ（YouTube）配信の推進
 ユーチューブを通じての吟詠推進活動の実施計画をたて、継続して不特定多数の人に詩吟をアピールする取り組みを行った。
 - ②ホームページでの吟詠普及
 - ・新たに詩吟を始めようと考えている人の為に、主な教場の紹介・検索コーナーの活用に向けた取り組みを行った。
 - ・漢詩紹介の拡充のために、「悠久の名詩選Ⅱ」を掲載した。
 - ・若年層向けコーナーを設置して、幼少年・青年部の活動を紹介した。
 - ③ 機関誌「吟詩日本」を発行（一般販売）
 - ・「吟詩日本」（193号、194号、195号、196号）を発行した。
 - ・時代に即応できるよう改善を行った。
 - ・漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩を掲載した。
- (7) 教本発行（一般販売）
- ① 教本冊子頒布
 - ・新教本初級編他（既刊教本）の頒布を行った。
 - ・新教本Bその2（新刊教本）の頒布を行った。
 - ② 「和歌・俳句・新体詩（近代詩）」縮刷本の検討を行った。
- (8) 海外移動教室の開講・・・・・・・・・・・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
 「中国漢詩紀行」の開講を中止した。
- (9) 国内移動教室の開講・・・・・・・・・・・・・【新型コロナ感染防止のため中止】

国内の史跡、詩歌ゆかりの地を巡り、歴史・文化の理解を深め、詩吟の普及向上を図る。「国内移動教室」の開講は中止した。

(10) 災害復興支援活動の実施

災害復興義援金の募集活動を継続実施した。(イベント毎に呼掛けを行った。)

公益目的2 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

(1) 下記競吟大会を実施した。(一般来聴歓迎)

① 全国新人中間層競吟大会 エーリック (尼崎)

令和3年11月14日(日) 参加者400人 出吟者189人

② 全国準師範師範代・指導者級吟士権者決定吟詩大会 現代劇場 (高槻)

令和3年12月12日(日) 参加者500人 出吟者269人

③ 全国競吟大会予選大会

大阪地区、兵庫地区、岡山地区では全国競吟大会出吟者の予選大会を実施。下記地区は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため予選大会は行わず、出吟者は各地区からの推薦とした。

- ・九州地区 ・西中国地区 ・四国地区 ・奈良地区 ・和歌山地区
- ・京都地区 ・滋賀地区 ・東海地区 ・東京地区

(2) 昇段審査、昇格試験を実施した。

- ・内部規程に基づき昇段審査を行い合格者に段位を授与した。
- ・内部規程に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験及び研修会を実施し、合格者に指導者としての資格を授与した。

① 昇段審査は内部規程に基づき、一次審査は公認団体毎に実施し、二次審査は総本部において実施、会長が認定した。

令和3年7月1日付及び令和4年1月1日付で昇段免許状を授与した。

② 地方昇格試験 (師範代・準師範・師範) を実施した。

- ・岡山試験場 令和3年7月11日(日)
- ・福岡試験場 令和3年7月18日(日)
- ・広島試験場 令和3年7月8日(木)
- ・名古屋試験場 令和3年6月20日(日)

③ 総本部昇格試験 (師範代・準師範・師範) を実施した。

- ・総本部試験場 令和3年7月18日(日)

④ 昇格試験合格者には、9月1日付で東明祭において免許状を授与した。

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き漢詩の鑑賞・歴史・科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行った。

① 吟詠普及推進研修会

【公益目的1の詩歌吟詠の普及推進事業】に合わせ、以下の地区において、吟詠普及推進研修会を行った。

- ・吟詠普及研修会兼推薦師範講習会 (エーリック) 令和3年6月13日(日)
120人参加 (内一般会員他40人)

- ・吟詠普及研修会九州大会 令和3年7月18日(日)計画
・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
- ・吟詠普及研修会岡山大会 令和3年8月22日(日)
76人参加 (内一般会員他20人)
- ・吟詠普及研修会京滋福井大会 令和4年2月13日(日)計画
・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
- ・吟詠普及研修会東海大会 令和4年2月20日(日)計画
・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
- ・吟詠普及研修会四国大会 令和4年2月27日(日)
(リモート方式併用で開催) 70人参加 (内一般会員他20人)
- ・吟詠普及研修会西中国大会 令和3年3月19日(土)
210人参加 (内一般会員他80人)

② 指導者研修会を会場参加者に加えリモート方式を併せて行った。

- ・推薦師範講習会
令和3年6月13日(日) エーリック(尼崎)
120人参加 (リモート参加者20人・内一般会員他40人)
- ・吟詠研修会
令和3年9月12日(日) 大東市民会館
215人参加 (リモート参加者20人・内一般会員他60人)
- ・昇格課題詩研修会(令和4年度 師範・準師範・師範代昇格課題詩)
令和3年11月21日(日) 総本部
長詩4題、和歌3題、律詩6題、絶句8題
210人参加(リモート参加者50人・内一般会員他60人)

③ 吟道大学講座の開講 ・・・【新型コロナ感染防止のため中止】

- ・令和4年2月5日(土)～6日(日) パナソニックリゾート大阪

④ 新指導者養成講座「東明未来塾」の開設

漢詩鑑賞、作詩法、発声の理論、指導者の心構え、組織運営と活性化等の研修と自主性発揚の研修、中国・日本の歴史講座

○総本部コース 4回/年

第1回:令和3年9月25日(土)、第2回:令和3年11月27日(土)

第3回:令和4年1月22日(土)は令和4年4月23日(土)に延期

第4回:令和4年3月26日(土)は令和4年5月28日(土)に延期

受講者数 39名

○地方コース

・九州地区(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)3回/年

第1回:令和3年10月6日(水)、第2回:令和3年11月23日(祝)

第3回:令和3年12月22日(水)

受講者数 34名

・西中国地区(広島)3回/年

第1回:令和3年8月10日(火)、第2回:令和3年9月18日(土)

第3回:令和3年10月23日(土)は令和4年4月29日(祝)に延期

受講者数 55名

- ・東海地区（静岡・愛知・三重）3回／年
第1回：令和3年10月18日（月）、第2回：令和3年11月7日（日）
第3回：令和3年12月20日（月）

受講者数 44名

- ⑤ 作詩講座（一般公募）を実施した。 総本部 会議室
作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技
量の向上を図った。

・毎月第2金曜日（5月は中止） 午後3時～午後5時

参加者数 延べ132人

- ⑥ 作詩添削（一般公募）を実施した。
一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削など
の指導を行うとともに、自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上を図
った。

年4回 応募作品数 145作品

- ⑦ 漢詩鑑賞講座（一般公募）を開講した。 総本部 会議室
漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景を広く一般の方にも
解説し、漢詩を広める活動をした。

2カ月に1回（年5回） 午後2時～午後4時

参加者数 延べ190人

（4）研究会

- ・指導局指導部会 ・指導局教養部会 ・指導局教本作成部会
・秀詠グループ吟詠研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい教本を発行した。また、各種研修会の内容の充実を図り、吟詠芸術を探求するなどの研究を行った。

（5）部会・委員会

- ・広報局広報部会 ・広報局ホームページ委員会
不特定多数の人に対して、広く、吟詠に関する調査・研究の成果や吟詠普及活動のための広報活動を行った。
- ・広報局企画部会
吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案の提言を行った。
- ・青年部
不特定多数の人及び青年層に対して広く吟詠普及活動を行った。
- ・作詩添削委員会
会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行うため、委員会を設置した。

2. 収益目的事業

収益1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD・DVD等の頒布を行った。

- (1) 参考図書販売を行った。
- ① 誰にでもできる漢詩の作り方 (太刀掛呂山著)
 - ② 作詩便覧 宮崎東明編
 - ③ 作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行
中国編 関西吟詩文化協会発行
- (2) CDの頒布を行った。
- ・和漢名詩選 (一～六) 既存 CD の頒布
 - ・和漢名詩選 (七) 新作 新作 CD の頒布
 - ・本部指導者研修会収録編 (新作) 新作 CD の頒布
- DVD の頒布を行った。
- ・「昔ばなし 一寸法師」他 既存 DVD の頒布

収益 2 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を交付する事業

- (1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業
- ① 昇段免状授与
所定の昇段審査に合格した者に対し免状を授与した。
令和 3 年 7 月 1 日付及び令和 4 年 1 月 1 日付
 - ② 昇格資格者への免状の授与 (師範代・準師範・師範)
・所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与した。
令和 3 年 9 月 1 日付
・推薦による昇格申請に基づき審査し、昇格免状を授与した。
令和 3 年 9 月 2 日付
 - ③ 特別昇格 (上師範・高師範・総師範)
推薦による昇格申請に基づき審査し、特別昇格称号を授与した。
令和 3 年 9 月 2 日付
- (2) 記章の販売
「師範・準師範・師範代・会員」バッジの販売を行った。

3. 相互扶助事業

その他 1 宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業

- (1) 東明祭の開催と功労者顕彰を行った。 令和 3 年 9 月 12 日 (日)
- ① 会員増員表彰 (個人、支部、会) 令和 3 年 9 月 1 日付
 - ② 慶寿祝、成人祝 令和 3 年 7 月 1 日付
 - ③ 功労者等顕彰の実施 令和 3 年 9 月 1 日付
細則第 1 号第 22 条の顕彰基準に定める称号を授与
吟功章 (上師範、高師範、総師範)
特別吟功章 (宗 範)

4. その他の事業（法人会計事業）

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業

(1) 定時総会の開催 令和3年6月5日（土） エーリック（尼崎）

(2) 各種会議

- ① 総会
- ② 役員会(正副会長会、理事会)
- ③ 元老・相談役・参与・代議員会議
- ④ 局部会（管理局総務部・管理局財務部）
- ⑤ 東明未来塾運営委員会
- ⑥ 創立90周年準備委員会(記念誌作成委員会・記念大会準備委員会)
- ⑦ その他特別検討委員会